

日程表

10月15日(土)

会議センター

| | 301・302 (3F) | 313・314 (3F) | 311・312 (3F) |
|-------|---|--------------------|---------------------|
| | 口演 (シアター形式) 第1会場 | 理事会 | 社員総会 |
| 13:00 | | 13:00～15:00 理事会 | |
| 14:00 | | | |
| 15:00 | | | |
| 16:00 | | | 15:30～16:30 社員総会 |
| 16:30 | 受付開始 | | |
| 17:00 | | | |
| 17:30 | 17:30～18:40 (70分) イブニングセミナー1 座長：上岡 洋晴 演者：白土 良太 | | |
| 18:00 | イブニングセミナー2 座長：黒川 美知代 演者：奥 俊介 | | |
| 18:30 | | | |
| 19:00 | | | |
| 20:00 | | | |

10月16日(日)

会議センター

| | 301・302 (3F) 口演(シアター形式) 第1会場 | メインホール (1F) 口演(シアター形式) 第2会場 | 315 (3F) 口演(シアター形式) 第3会場 | 313・314 (3F) 一般口演(シアター形式) 第4会場 | 303 (3F) ポスター・企業展示・ドリンクコーナー 第5会場 |
|-------|--|---|--|--|---|
| 8:00 | 開会式 8:05~8:25 (20分) 大会長講演 座長: 金森 雅夫 演者: 鮫島 直之 | | | | |
| 9:00 | 8:30~9:30 (60分) スポンサードセミナー1 転倒を治せるシャント術: 特発性正常圧水頭症(iNPH) 座長: 村井 尚之 演者: 大池 涼 山田 茂樹 共催: Integra Japan 株式会社 | 9:40~11:00 (80分) 特別企画1 パネルディスカッション 病院内転倒予防チーム会議 ~多職種で考える双方向ラ イブ会議・全国の転倒予防 チーム集合~ 座長: 豊場 郁子 萩野 浩 演者: 豊場 郁子 山内 希世 米山 久美子 共催: パラマウントベッド 株式会社 協力: 月刊ナーシング | 8:30~9:50 (80分) パネルディスカッション リハビリテーションと転倒 予防 座長: 大高 洋平 森田 光生 演者: 相原 彩香 水谷 公司 加藤 剛平 浦上 英之 | | |
| 10:00 | 9:35~10:00 (25分) 教育講演1 座長: 上内 哲男 演者: 今枝 秀二郎 | | 9:50~10:50 (60分) シンポジウム1 AI・テクノロジーと転倒予 防 座長: 山本 創太 小林 吉之 演者: 豊柴 博義 永井 克幸 市川 将 | | |
| 11:00 | 10:00~10:25 (25分) 教育講演2 座長: 橋口 知 演者: 馬淵 俊介 | | 11:00~12:00 (60分) スポンサードセミナー3 テクノロジーと転倒時の大 腿骨折予防 座長: 原田 敦 演者: 伊藤 安海 共催: 凸版印刷株式会社 | 11:10~12:10 (60分) 一般口演1 多様な転倒予防の取り組み 座長: 村山 明彦 | 11:10~12:10 (60分) ポスター1 病院における転倒予防1 座長: 加藤 万里代 ポスター2 転倒の要因 座長: 油野 規代 ポスター3 リハビリテーションと転倒 座長: 牧迫 飛雄馬 ポスター4 病院内転倒予防チームの取り 組み 座長: 安田 彩 |
| 12:00 | 10:25~10:50 (25分) 教育講演3 座長: 岡田 真平 演者: 澤田 京樹 | 11:10~12:10 (60分) シンポジウム2 スポーツと転倒予防 座長: 金森 雅夫 小松 泰喜 演者: 中山 晴雄 篠原 靖司 立入 久和 | 12:10~13:10 (60分) ランチョンセミナー2 脳卒中と転倒予防 座長: 渡邊 玲 演者: 小川 純人 共催: 第一三共株式会社 | 12:10~13:10 (60分) ランチョンセミナー3 フレイルのための栄養・運 動指導と転倒予防 座長: 大高 洋平 演者: 山田 実 共催: 株式会社クリニコ | |
| 13:00 | 11:00~12:00 (60分) スポンサードセミナー2 骨粗しょう症と転倒予防 座長: 福田 健太郎 演者: 林 綾野 山本 智章 共催: 旭化成ファーマ株式 会社 | | | | |
| 14:00 | 12:10~13:10 (60分) ランチョンセミナー1 薬剤と転倒予防 座長: 武藤 芳照 演者: 相川 倫太郎 萩野 浩 共催: エーザイ株式会社 | 13:30~14:30 (60分) 特別講演(市民公開講座) 座長: 鮫島 直之 演者: 工藤 公康 | | | |
| 15:00 | 13:10~13:30 (20分) 会員協議会 | | 14:40~16:00 (80分) ワークショップ Withコロナ時代とこれら の転倒予防活動~転倒予防 指導士のみらいを考える~ 座長: 奥泉 宏康 梅原 里実 演者: 黒川 美知代 北湯口 純 | 14:45~15:45 (60分) 一般口演2 転倒要因を評価する 座長: 渡邊 進 | 14:45~15:45 (60分) ポスター5 病院における転倒予防2 座長: 山内 希世 ポスター6 デバイスと転倒予防 座長: 二瓶 美里 ポスター7 身体機能と転倒予防 座長: 大坂 裕 ポスター8 生活環境 活動向上と転倒 予防 座長: 山田 実 |
| 16:00 | 14:40~15:05 (25分) 教育講演4 座長: 近藤 和泉 演者: 前田 剛 | 14:45~16:05 (80分) 特別企画2 パネルディスカッション 介護施設の転倒予防~介護 施設内での転倒に関するス テートメントを考える~ 座長: 鈴木 みすえ 征矢野 あや子 演者: 山野 雅弘 杉本 浩司 筒井 妙子 共催: 学研グループ 協力: 高齢者住宅新聞社 | | | |
| 16:40 | 15:05~15:30 (25分) 教育講演5 座長: 浅見 豊子 演者: 湯田 健二 | | | | |
| 17:00 | 15:30~15:55 (25分) 教育講演6 座長: 渡邊 洋 演者: 高山 かおる | | | | |
| | 16:10~16:40 (30分) 基調講演 座長: 菅 栄一 演者: 武藤 芳照 | | | | |
| | 閉会式 | | | | |

第1会場 ● 301・302 (3F)

< 10月15日 (土) >

イブニングセミナー 17:30 ~ 18:40

73

イブニングセミナー1

座長：上岡 洋晴 東京農業大学大学院環境共生学専攻 教授

1-ES1 自動車運転のみらい

白土 良太 (特定非営利活動法人 ITS Japan 理事)

イブニングセミナー2

座長：黒川 美知代 武蔵野赤十字病院看護部 看護師長

1-ES2 病院内転倒予防の最新技術

奥 俊介 (パラマウントベッド株式会社経営企画本部マーケティング部 係長)

< 10月16日 (日) >

大会長講演 8:05 ~ 8:25

35

座長：金森 雅夫 立命館大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 教授

1-PA 私が目指す「転倒予防」の道

鮫島 直之 (国家公務員共済組合連合会東京共済病院脳神経外科 部長)

スポンサードセミナー1 8:30 ~ 9:30

共催：Integra Japan 株式会社

83

転倒を治せるシャント術：特発性正常圧水頭症 (iNPH)

座長：村井 尚之 千葉県済生会習志野病院 副院長, 脳神経外科 部長

1-SS1-1 地域医療の特発性正常圧水頭症ケアにおける重要性

大池 涼 (名戸ヶ谷病院脳神経外科)

1-SS1-2 iNPH と転倒リスク評価のテクノロジーの進歩

山田 茂樹 (名古屋市立大学脳神経外科 / 東京大学大学院情報学環生産技術研究所 分散数値シミュレーション開発研究室)

教育講演1 9:35 ~ 10:00

41

座長：上内 哲男 独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) 相模野病院リハビリテーション室 理学療法士長

1-EL1 建築的観点から考える住宅環境における転倒予防

今枝 秀二郎 (株式会社日建設計総合研究所 研究員)

教育講演 2 10:00～10:25

41

座長：橋口 知 鹿児島大学学術研究院法文教育学域教育学系 教授

- 1-EL2 患者の転倒と医療機関の責任～判断から見る転倒予防～
馬淵 俊介（阪本・馬淵法律事務所 弁護士）

教育講演 3 10:25～10:50

41

座長：岡田 真平 公益財団法人身体教育医学研究所 所長

- 1-EL3 職場における転倒災害の防止
澤田 京樹（厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課 中央産業安全専門官）

スポンサードセミナー 2 11:00～12:00

共催：旭化成ファーマ株式会社 83

骨粗しょう症と転倒予防

座長：福田 健太郎 済生会横浜市東部病院 院長補佐, 運動器センター センター長, 整形外科 部長

- 1-SS2-1 『コツソ』と『ロコモ』～健康寿命を伸ばしたいいきいき高齢者の増加を目指して～
林 綾野（済生会横浜市東部病院看護部）
- 1-SS2-2 脆弱性骨折ケアの新たな取り組み～大腿骨近位部骨折の二次性骨折予防継続管理～
山本 智章（医療法人愛広会新潟リハビリテーション病院 院長／整形外科）

ランチョンセミナー 1 12:10～13:10

共催：エーザイ株式会社 77

薬剤と転倒予防

座長：武藤 芳照 一般社団法人東京健康リハビリテーション総合研究所 代表理事 所長／東京大学名誉教授

- 1-LS1-1 病棟における転倒・転落で留意すべきこと～薬剤の影響も含めて～
祖川 倫太郎（佐賀大学医学部附属病院薬剤部）
- 1-LS1-2 転倒・骨折予防の最新情報～人生100年時代のPPK～
萩野 浩（鳥取大学医学部保健学科 教授）

教育講演 4 14:40～15:05

41

座長：近藤 和泉 国立研究開発法人長寿医療研究センター 病院長

- 1-EL4 高齢者頭部外傷と転倒予防
前田 剛（日本大学医学部脳神経外科学系神経外科学分野／青森大学脳と健康科学研究センター／
日本大学病院麻酔科）

教育講演 5 15:05～15:30

41

座長：浅見 豊子 佐賀大学医学部附属病院リハビリテーション科 リハビリテーション科診療教授

1-EL5 つまづき防止に必要な歩行のバイオメカニクスと予防

湯田 健二 (JMA 医療技術統括部リハビリテーション科 統括科長)

教育講演 6 15:30～15:55

41

座長：渡邊 洋 渡辺整形外科 院長

1-EL6 足爪の変形と転倒リスク

高山 かおる (済生会川口総合病院皮膚科 主任部長／東京医科歯科大学臨床 准教授 併任／一般社団法人足育研究会医療部会 代表理事)

基調講演 16:10～16:40

39

座長：菅 栄一 菅整形外科皮膚科クリニック 院長

1-KEY 転倒予防の道を拓く

武藤 芳照 (一般社団法人東京健康リハビリテーション総合研究所 代表理事 所長／東京大学名誉教授)

特別企画1 9:40～11:00

共催：パラマウントベッド株式会社

49

パネルディスカッション

協力：月刊ナーシング

病院内転倒予防チーム会議～多職種で考える双方向ライブ会議・全国の転倒予防チーム集合～

座長：饗場 郁子 国立病院機構東名古屋病院脳神経内科・臨床研究部 部長

萩野 浩 鳥取大学医学部保健学科 教授／附属病院リハビリテーション部 部長

2-SE1-1 東名古屋病院の自主的な転倒予防チーム「チーム1010-4」の活動と課題

饗場 郁子（国立病院機構東名古屋病院脳神経内科・臨床研究部 部長）

2-SE1-2 当院の転倒予防チームの活動

山内 希世（東京共済病院医療安全対策室 師長／医療安全管理者）

2-SE1-3 当院における転倒・転落予防チーム活動と課題～急性期病院の看護師の立場から～

米山 久美子（鳥取大学医学部附属病院看護部医療安全担当 副師長）

シンポジウム2 11:10～12:10

61

スポーツと転倒予防

座長：金森 雅夫 立命館大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 教授

小松 泰喜 日本大学スポーツ科学部 教授

2-S2-1 脳振盪および脳振盪後の臨床

中山 晴雄（東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科 講師）

2-S2-2 実際のスポーツ現場での転倒傷害とその対応

篠原 靖司（立命館大学スポーツ健康科学部 教授）

2-S2-3 中高年者のスポーツと転倒

立入 久和（たちいり整形外科医院 院長）

特別講演（市民公開講座） 13:30～14:30

37

座長：鮫島 直之 国家公務員共済組合連合会東京共済病院脳神経外科 部長

2-SL 自分の歩む未来を創る～転ばぬ先の思考と行動～

工藤 公康（福岡ソフトバンクホークス前監督）

特別企画 2 14:45～16:05

共催：学研グループ

パネルディスカッション

協力：高齢者住宅新聞社

49

介護施設の転倒予防～介護施設内での転倒に関するステートメントを考える～

座長：鈴木 みずえ 浜松医科大学医学部看護学科臨床看護学講座 教授

征矢野 あや子 京都橘大学看護学部・大学院看護学研究科 教授

2-SE2-1 防げる転倒・防げない転倒～施設の対応は？～

山野 雅弘（介護老人保健施設紀伊の里 施設長）

2-SE2-2 高齢者介護施設の大腿骨頸部骨折予防で入院日数を 50%減少させる

～転倒しても骨折しない身体づくりと環境調整～

杉本 浩司（メディカル・ケア・サービス株式会社）

2-SE2-3 高齢者住まいにおける多職種連携による転倒事故防止

筒井 妙子（株式会社学研ココファン・ナーシング訪問看護事業部 マネジャー）

パネルディスカッション 8:30～9:50

65

リハビリテーションと転倒予防

座長：大高 洋平 藤田医科大学医学部リハビリテーション医学 I 講座 主任教授

森田 光生 千葉大学附属病院リハビリテーション科 副部長・療法士長

- 3-P-1 患者の主観的体験に基づいた転倒予防の視点とリハビリテーションの課題
相原 彩香 (東北福祉大学健康学部リハビリテーション学科 助教)
- 3-P-2 急性期大学病院におけるリハビリテーション実施中の転倒事故の特性
水谷 公司 (藤田医科大学病院リハビリテーション部 課長)
- 3-P-3 転倒予防プログラムの費用対効果と社会実装に向けた課題
加藤 剛平 (東京保健医療専門職大学理学療法学科 講師)
- 3-P-4 パーキンソン病患者の歩行不安定性の検証
浦上 英之 (大阪医科薬科大学病院リハビリテーション科 理学療法士)

シンポジウム 1 9:50～10:50

57

AI・テクノロジーと転倒予防

座長：山本 創太 芝浦工業大学工学部機械機能工学科 教授

小林 吉之 国立研究開発法人産業技術総合研究所人間拡張研究センター運動機能拡張研究チーム 研究チーム長

- 3-S1-1 自然言語処理を使用した転倒転落予測 AI システム～Coroban～
豊柴 博義 (株式会社FRONTEO (フロンテオ) 執行役員/ニューロ言語科学研究所 所長 AI ソリューション CTO 博士 (数学))
- 3-S1-2 3D センサを活用した歩行姿勢測定システムの開発と事業展開
永井 克幸 (NEC ソリューションイノベータ株式会社 プロフェッショナル)
- 3-S1-3 Kinect v2 を用いた歩行姿勢評価と改善プログラムの開発
市川 将 (株式会社アシックススポーツ工学研究所)

スポンサードセミナー 3 11:00～12:00

共催：凸版印刷株式会社

83

テクノロジーと転倒時の大腿骨骨折予防

座長：原田 敦 介護老人保健施設ルミナス大府 施設長

- 3-SS3 床材による転倒骨折予防～大腿骨骨折リスクに基づく最新の床材評価理論と下地材の重要性～
伊藤 安海 (山梨大学大学院総合研究部 教授)

ランチョンセミナー 2 12:10～13:10

共催：第一三共株式会社

77

脳卒中と転倒予防

座長：渡邊 玲 東京共済病院脳神経外科

- 3-LS2 高齢者トータルケアにおける転倒・フレイル対策と抗凝固療法
小川 純人（東京大学大学院医学系研究科加齢医学）

ワークショップ 14:40～16:00

71

With コロナ時代とこれからの転倒予防活動～転倒予防指導士の未来を考える～

座長：奥泉 宏康 上田市武石診療所 所長

梅原 里実 高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科 准教授

- 3-W 黒川 美知代（武蔵野赤十字病院看護部 看護師長）
北湯口 純（島根県雲南市立身体教育医学研究所うんなん 主任研究員）

一般口演 1 11:10～12:10

91

多様な転倒予防の取り組み

座長：村山 明彦 群馬医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法専攻 講師

- 4-1-1 コロナフレイルが危惧される地域在住高齢者の転倒関連因子～縦断研究～
村山 明彦 (群馬医療福祉大学リハビリテーション学部)
- 4-1-2 家屋調査における3次元スキャンの有用性の検討
本田 昌義 (国家公務員共済組合連合会東京共済病院リハビリテーション科)
- 4-1-3 転倒分析におけるIoTデバイスから取得した画像記録の有益性検討
近藤 輝 (藤田医科大学医学部リハビリテーション医学I講座)
- 4-1-4 寄り添いロボット®を活用したIADLでの複合動作評価の試み
山田 周平 (豊田地域医療センターリハビリテーションセンター)
- 4-1-5 iPhoneアプリTDP walk (マーカーレス3Dモーションキャプチャー)を用いた加齢と歩行速度、膝関節角度との関連性の検討
近藤 敏行 (山形大学医学部内科学第三講座神経学分野)

ランチョンセミナー 3 12:10～13:10

共催：株式会社クリニコ

77

フレイルのための栄養・運動指導と転倒予防

座長：大高 洋平 藤田医科大学医学部リハビリテーション医学I講座 主任教授

- 4-LS3 コロナ禍で高齢者に及んだ影響とそのフレイル対策～運動・食事・社会参加に着目して～
山田 実 (筑波大学人間系 教授)

一般口演 2 14:45～15:45

95

転倒要因を評価する

座長：渡邊 進 社会医療法人寿量会熊本機能病院 副院長

- 4-2-1 頸髄症患者における転倒危険因子
伊藤 定之 (名古屋大学整形外科)
- 4-2-2 転倒しやすい特発性正常圧水頭症の診断と治療には、地域のネットワーク連携が欠かせない～第2報～
村井 尚之 (千葉県済生会習志野病院脳神経外科)
- 4-2-3 サルコペニア判定に用いる身体機能測定による転倒リスク評価の有用性
川村 皓生 (国立長寿医療研究センターリハビリテーション科部)

4-2-4 Hybrid Assisted Limb (HAL[®]) 実施患者における転倒・骨折の頻度および特徴～ preliminary study ～
饗場 郁子 (国立病院機構東名古屋病院脳神経内科)

4-2-5 高齢入院患者の心理的側面と転倒との関連
山之内 翔子 (一般財団法人永頼会松山市民病院リハビリテーション室)

ポスター1 11:10～12:10

99

病院における転倒予防1

座長：加藤 万里代 国立病院機構東名古屋病院医療安全管理室

- 5-1-1 多職種チーム病棟ラウンドによる転倒転落防止策の評価
加藤 万里代 (国立病院機構東名古屋病院医療安全管理室)
- 5-1-2 当院循環器病棟における転倒インシデントの発生状況と要因の分析
片山 信久 (国家公務員共済組合連合会共済病院リハビリテーション科)
- 5-1-3 当院における腎臓泌尿器科病棟の転倒に関連する因子の検討
木下 雄貴 (国家公務員共済組合連合会共済病院リハビリテーション科)
- 5-1-4 インシデント分析から見えた当院の転倒転落予防対策の課題
鈴木 美佳 (静岡市立清水病院看護科)
- 5-1-5 当病院循環器病棟における転倒・転落の現状と課題
遠藤 ゆりか (心臓血管センター岡村記念病院)
- 5-1-6 当院における転倒・転落の現状と今後の課題～インシデントレポートを振り返って～
米山 剛史 (医療法人厚生会小原病院リハビリテーション科)
- 5-1-7 転倒発生の場所と要因の分析～転倒総数が減少しても減らない要因の検討～
村松 亜由美 (袋井市立聖隷袋井市民病院)

ポスター2 11:10～12:10

105

転倒の要因

座長：油野 規代 福井医療大学保健医療学部看護学科

- 5-2-1 ランチョ・ロス・アミーゴ方式歩行という膝伸展，踵着地，振り子歩行の問題点
千崎 英隆 (ウェルネスプロジェクト株式会社)
- 5-2-2 慣性計測装置より得られる体幹および骨盤動揺量の参考値と年代間比較
大池 遼 (JA 長野厚生連佐久総合病院理学療法科)
- 5-2-3 当院入院患者におけるロンブステストの妥当性の検証
永谷 亮太 (医療法人社団葵会 AOI 名古屋病院リハビリテーション科)
- 5-2-4 転倒したがん患者の疼痛や損傷状況から見てきたこと～文献レビュー～
油野 規代 (福井医療大学保健医療学部看護学科)

- 5-2-5 前立腺癌ホルモン療法の脆弱性骨折に対する患者指導への取り組み
～パンフレットの作成とスタッフ教育～
山中 祐二（NHO 東広島医療センター骨粗鬆症予防対策委員会）
- 5-2-6 産官学医包括連携事業におけるロコモティブシンドローム予防教室の取り組み
池田 香代（大阪大谷大学人間社会学部スポーツ健康学科）
- 5-2-7 脳卒中回復期患者の転帰の予測における栄養スクリーニングツールの比較
高木 咲穂子（国立病院機構東名古屋病院栄養管理室）

ポスター 3 11:10～12:10

111

リハビリテーションと転倒

座長：牧迫 飛雄馬 鹿児島大学医学部保健学科学療法学専攻基礎理学療法学講座 教授

- 5-3-1 スタッフ教育を含む多角的介入によってリハビリ中の転倒は減らせるか？
初瀬川 弘樹（医療法人せいわ会彩都リハビリテーション病院リハビリテーション部）
- 5-3-2 脳神経疾患入院患者における転倒防止ラウンド後の転倒に対する調査
射場 靖弘（鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部）
- 5-3-3 リハビリテーション介入中の転倒転落事例について分析
長崎 将城（国家公務員共済組合連合会東京共済病院リハビリテーション科）
- 5-3-4 回復期リハ病棟入院患者の転倒事例に対し、再転倒防止を目的とした取り組み
渡邊 真也（西日本旅客鉄道株式会社大阪鉄道病院リハビリテーション科）
- 5-3-5 アンケート調査を用いた回復期リハビリテーション病棟における転倒の分類作成
大野 真之介（藤田医科大学病院リハビリテーション部）
- 5-3-6 転倒転落アセスメントシートの改変とピクトグラムカード導入による予防効果
～回復期リハビリテーション病棟での検討～
徳久 謙太郎（友誼会総合病院リハビリテーション科）

ポスター 4 11:10～12:10

115

病院内転倒予防チームの取り組み

座長：安田 彩 日本大学病院リハビリテーション室

- 5-4-1 急性期病院における新たな転倒転落アセスメントシート導入の試み
安田 彩（日本大学病院リハビリテーション室）
- 5-4-2 病院内転倒転落予防チームの現状と展望
東内 大介（東京共済病院リハビリテーション科）

- 5-4-3 **カンファレンスで立案した対策を看護計画に反映させる取り組み**
浅野 泰代（横浜新都市脳神経外科病院看護部）
- 5-4-4 **当院の転倒患者の転倒・転落アセスメントシートと転倒損傷の有無の関連についての検討**
～損傷リスク低減に向けて～
吉田 匡江（鳥取県立中央病院リハビリテーション室）
- 5-4-5 **主治医が参加する多職種転倒予防ラウンドの導入**
岡部 栄子（千早病院医療安全対策室）
- 5-4-6 **見直そう！患者さんのベッドサイド～環境面から転倒転落防止を考える～**
廣瀬 里美（特定医療法人誠仁会大久保病院）
- 5-4-7 **急性期整形病棟における病棟活動性自立度判定チェックシート作成の試み**
～リハビリテーション専門職と病棟看護師との連携～
大久保 勇紀（伊奈病院リハビリテーション技術科）

ポスター 5 14:45～15:45

121

病院における転倒予防 2

座長：山内 希世 東京共済病院医療安全対策室 師長／医療安全管理者

- 5-5-1 **転倒転落アセスメントシート改変による予測精度の向上～急性期病棟における検討～**
森 勇人（医療法人友絨会友絨会総合病院リハビリテーション科）
- 5-5-2 **当院における転倒転落リスクアセスメントシートの作成**
～評価時期・方法を統一化！転倒転落リスクアセスメントを多角的に～
内藤 宏典（医療法人三九会三九朗病院リハビリテーション部）
- 5-5-3 **当院における転倒転落予防対策の可視化に向けた取り組み～ピクトグラムの導入～**
浦野 良一（医療法人三九会三九朗病院リハビリテーション部）
- 5-5-4 **センサ，身体拘束，臨床判断における転倒予測に関わる要因**
寺井 知代子（医療法人社団浅ノ川心臓血管センター金沢循環器病院）
- 5-5-5 **転倒予防のためのセンサ使用における身体拘束との位置付け～文献レビュー～**
加藤 真由美（金沢大学保健学系）
- 5-5-6 **当院における再転倒予防に対する取り組みについて**
石田 真歩（藤田医科大学岡崎医療センターリハビリテーション部）
- 5-5-7 **急性期病院における転倒転落リスクに関する検討～入院時と転倒転落時のチェックシート項目から～**
椿野 幸子（山形市立病院済生館安全管理室）

ポスター6 14:45～15:45

127

デバイスと転倒予防

座長：二瓶 美里 東京大学大学院新領域創生科学研究科人間環境学専攻

- 5-6-1 歩行計測による小学生の転倒リスク評価～転倒リスク歩行健診システム THE WALKING® を用いて～
野澤 秀隆（マイクロストーン株式会社開発部）
- 5-6-2 転倒における大腿骨近位部の有限要素解析
村上 颯太郎（名古屋大学大学院工学研究科）
- 5-6-3 仮想ライトタッチによる立位機能評価システム StA2BLE ～新しい転倒リスク評価スコアの提案～
坂田 茉実（横浜国立大学先端科学高等研究院）
- 5-6-4 仮想ライトタッチによる転倒予防法と姿勢動揺低減効果の原理解明に向けた取り組み
島 圭介（横浜国立大学大学院環境情報研究院）
- 5-6-5 施工後の床に対する転倒時大腿骨骨折リスクの評価～可搬式床材評価装置の開発および検証～
渡邊 大樹（山梨大学安全医工学研究室）
- 5-6-6 AIによる外傷を伴う転倒予測モデルの精度検証
北村 新（藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科）

ポスター7 14:45～15:45

131

身体機能と転倒予防

座長：大坂 裕 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科

- 5-7-1 転倒で生じた大腿骨頸部骨折に合併した特発性正常圧水頭症の臨床像
前田 達浩（医療法人社団山本前田記念会前田病院脳神経外科）
- 5-7-2 膝部動揺の制御方法の違いが片脚立位時の足圧中心動揺に及ぼす影響
小原 謙一（川崎医療福祉大学リハビリテーション学部）
- 5-7-3 中高年者の起立能力
安川 揚子（元佐久大学看護学部）
- 5-7-4 転倒リスクに関連する運動機能に対する歩行訓練の効果について～歩行補助具 e-foot を使用した例～
岡村 健太（介護老人保健施設ルミナス大府リハビリテーション科）
- 5-7-5 意識障害による高齢者階段転落事故を想定した頭部傷害評価
佐藤 優樹（芝浦工業大学大学院理工学研究科機械工学専攻）
- 5-7-6 下肢運動機能の検証 Verification of lower limb motor function
大谷 由美（医療法人資生会八事病院看護部）

- 5-7-7 転倒対策実施後の転倒に関する研究～静的立位バランス保持能力変化時に焦点をあてて～
山口 ひとみ（金沢大学附属病院看護部）

ポスター 8 14:45～15:45

137

生活環境 活動向上と転倒予防

座長：山田 実 筑波大学人間系 教授

- 5-8-1 60歳以上の中高齢者におけるフレイルと転倒恐怖感との関連
牧迫 飛雄馬（鹿児島大学医学部保健学科理学療法学専攻）
- 5-8-2 転倒予防&フレイル予防のための筋トレウォーク
斉藤 良一（NPO 法人熟年体育大学リサーチセンター）
- 5-8-3 地域在住高齢者のフレイル予防を目的とした産学官連携
～歩行速度・認知機能の変化と転倒の関係に着目した研究プロトコル～
村山 明彦（群馬医療福祉大学リハビリテーション学部）
- 5-8-4 地域在住高齢者の起立能力の実態，および転倒，生活状況，社会参加等との関連
竹中 友希（京都橘大学看護学部）
- 5-8-5 一宮市におけるウィズコロナ時代の転倒予防活動の現状と課題
鵜飼 和司（一宮市議会議員）
- 5-8-6 一宮市におけるコロナ禍前後の転倒関連救急搬送データ比較
鵜飼 和司（一宮市議会議員）